

広

報

お知らせ版

薩摩川内

広報さつませんだい

2009

4

No.109



川内

シティセールスで

本市の好感度を上げていきます

4月1日(水)、向原副市長を本部長とするシティセールス推進本部が本庁舎内に設置されました。これは、本市の持つ特色や魅力をほかの自治体や企業に売り込むことで、本市の知名度や好感度を向上させることを目的としています。これによって、市外から本市に「行きたい」、「買いたい」、「暮らしたい」と思う気持ちを引き出し、観光客の増加などを図り、まちの活性化を目指していきます。

同日は、知識副市長を本部長とする入来温泉場まちづくり推進本部も設置されました。

左：(母)久保みどりさん
右：里中学校卒業生 久保大生さん



▲大生さん=鹿児島市の高校へ入学するため、甕島を離れます。今まで何でもしてくれた両親に感謝しています。みどりさん=親として初めての「島立ち」はとてもつらくてたまりませんが、息子の成長を甕島から祈っています。

▼今年も里中学校の卒業生を中心に、地元の酒造メーカーの協力をもらい、自分たちで育てたサツマイモを使って焼酎「島立ち」960本を造りました(写真は焼酎のラベル張りの様子)。



前：平良小学校校長 山下守先生



▲上甕の平良小学校は、地域ぐるみで一人一人を大切に教育をされていて、そこで勤務できたことを幸せに感じています。充実した3年間でした。また必ず平良の皆様と会いに帰って来ます。



▲鹿島のウミネコ留学生、計8人が旅立ちました。
▶地域の人が親切でした。鹿島に留学してよかったです。



ふるかわ れおん 古川玲音くん



▶小八重修治さん 北菌さん、若松さん、下甕町での勤務ご苦労さまでした。たくさんの思い出をもらいました。新天地でも体に気を付けて頑張ってください。



慣れ親しんだ甕島での思い出と
かけがえのない経験を胸に、それぞれの島立ちへ

春は別れの季節。甕島には高校がないため、中学校を卒業した生徒たちのほとんどは、15歳で親元を離れ、本土の高校へと旅立って行きます。そのほか今年もいろいろな別れの風景がありました。